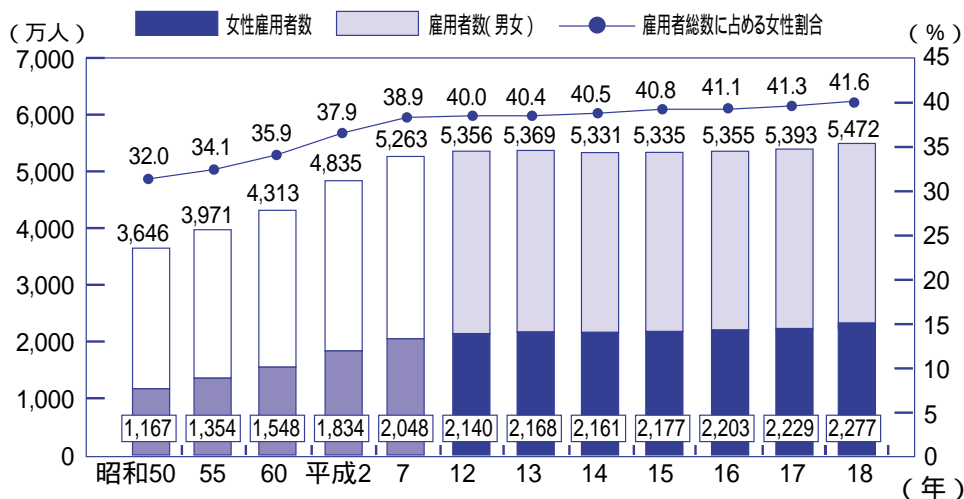


# 働く女性の現状

## 1. 増加する女性労働者

女性労働者は年々増加しており、雇用者全体に占める女性割合も年々高くなっています。(図1)

図1 女性雇用者数の推移

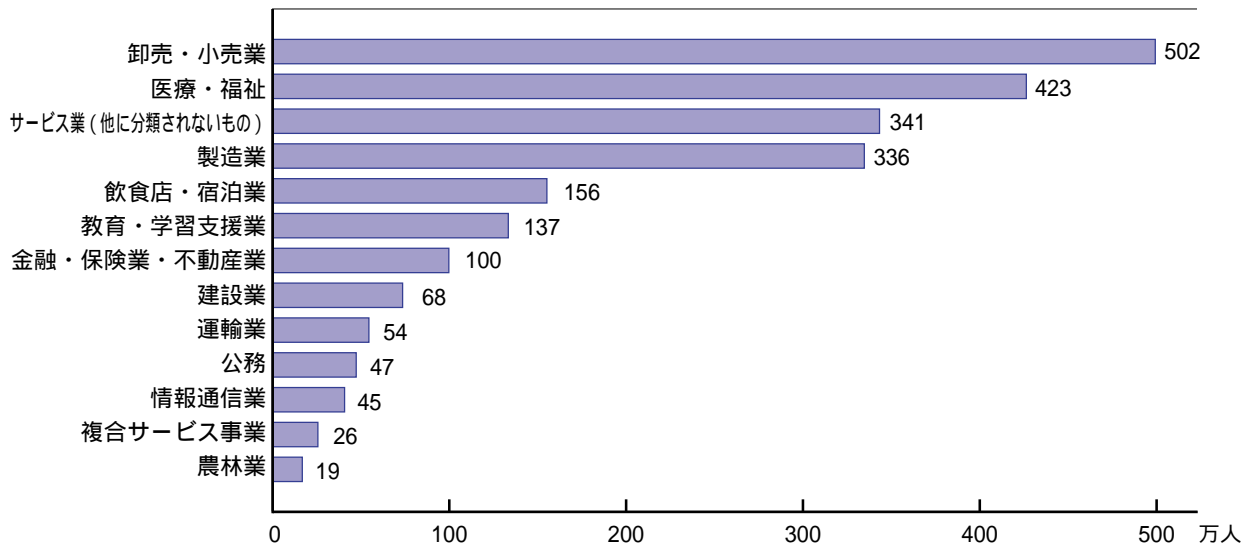


資料出所：総務省統計局「労働力調査」

## 2. 女性労働者の多い産業

「卸売・小売業」に502万人（女性雇用者総数に占める割合22.0%）、「医療、福祉」423万人（同18.6%）、「サービス業（他に分類されないもの）」341万人（同15.0%）、「製造業」336万人（同14.8%）と、これら4業種で女性雇用者の70.4%を占めています。(図2)

図2 産業別女性雇用者数

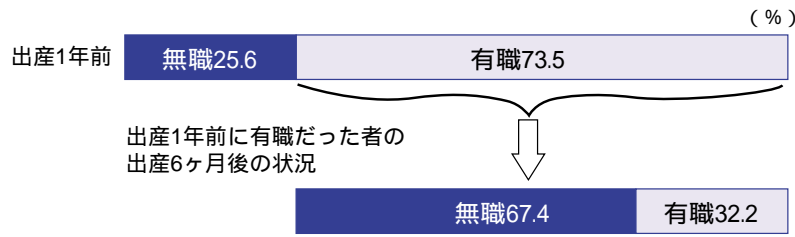


資料出所：総務省統計局「労働力調査」(平成18年)

### 3. 依然として多い妊娠・出産による退職

第1子出産を機に約7割（常勤に限ると約6割）が退職しており、妊娠・出産による退職者は依然として多い現状があります。（図3）

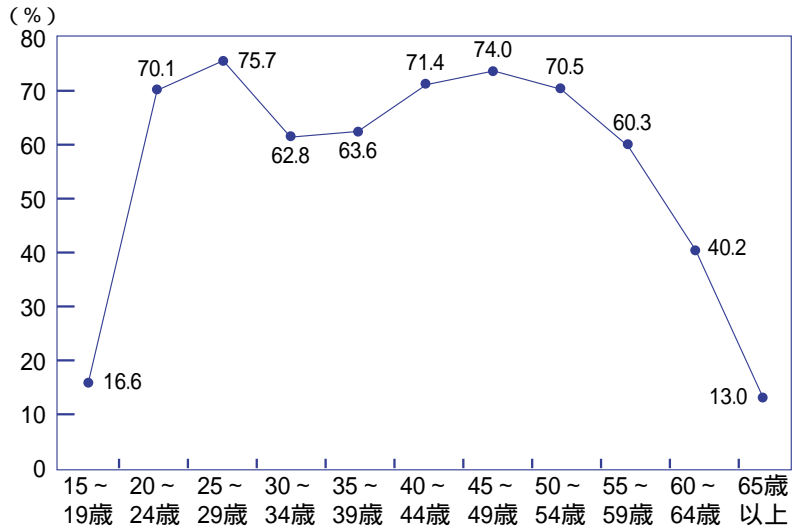
図3 第1子出産を機に離職した割合



資料出所：厚生労働省「第1回21世紀出生児縦断調査」（平成13年）  
調査対象：平成13年1月10日～17日、7月10日～17日の間に出生した子の母親

年齢階級別に労働力率をみると、出産・育児期に当たる30歳台をボトムとするM字型を描いています。（図4）

図4 女性の年齢階級別労働力率



資料出所：総務省統計局「労働力調査」（平成18年）